

八雲町育成牧場運営協議会 会議録

■日時 令和4年4月14日(木) 13:30~14:00

■場所 八雲町役場3階議員控室

■出席

運営委員 安藤 勉、佐藤 正之、都築 岳志、大栗 ミチ子、
田原 隆行、小栗 雅人、小野 泰、前川 眞由美、寺田 裕、
川原 成人(渡島農業普及センター渡島北部支所長)、
上村 博昭(新函館農業協同組合八雲支店北部畜産センター長)

指定管理者 株式会社青年舎
下里牧場長、荻本マネージャー

八雲町 岩村町長、石坂課長、宮下課長補佐、高嶋係長、角屋

■顛末

1. 挨拶 (八雲町町長 岩村 克詔)

北里八雲牛については、ふるさと納税や町内で販売できるような生産体制が整ってきたので、町としてPRしていきたい。また、育成牧場を株式会社青年舎に委託してから2年目となり、利用者の方もまだ不安があると思うが、今年度より大関牧場長、育成牧場担当者が変わったので、皆が安心して預けられるような牧場になると期待している。また町としても助言、指導していきたい。

2. 協議事項

○令和3年度運営状況について

・令和3年度決算見込み (指定管理者説明)
委員より異議なし

・繁殖管理状況 (指定管理者説明)

委員) 受胎率が低い原因はなにか。また今年度はどのように対策していくのか。

管理者) 昨年度は妊娠鑑定の間隔があくなど、定期的にできなかった。そのため、発情兆候を見逃す例が散見された。今年度は例年どおりの管理体制にし、対応していく。

・疾病発生状況（指定管理者説明）

委員）繁殖治療の内容は。

管理者）しっかりとした発情が来るようにするための治療が多かった。ビタミン剤も投与した。

○令和4年度運営状況について

・収支計画（指定管理者説明）

委員）負担金が増えているのはなぜか。また、令和3年度育成牧場使用料の予算より決算見込み額が大幅に下がっているが、今年度の予算設定は適切なのか。

管理者）道営草地の負担金が増えている。昨年度の入牧数は21戸210頭。今年度は現時点で申込頭数が310頭を超えている。最終的に350頭以上の頭数確保を目指す。

・道営草地畜産基盤整備事業（指定管理者説明）

委員より異議なし

・入牧について（指定管理者説明）

管理者）連休明けから入牧、5月25日に体重測定の予定。

○その他

委員）預託頭数が減ってきているが、八雲町育成牧場の5年後、10年後のビジョンについて町としてどう考えているのか。牛を預けている人達が満足しているのか、牛を預けていない人はなぜ預けていないのか、農家としっかりと対話していくことが必要だと考える。

事務局）預託数に関しては年々減少傾向だったが今年は増えている。草地等の改良も毎年実施しているし、株式会社青年舎に委託してからまだ2年目なので改良点なども一緒に協議していきたい。